

## 式辞

新入生18名の皆さん、入学おめでとうございます。

最初に、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルスのため、まもなく初夏を迎えようとするこの時期まで、皆さんの入学をお祝いできなかったことをお詫びしたいと思います。また、保護者の皆様には、大切なお子様の入学式に御臨席いただけないことを大変申し訳なく思っています。ただし、実施の時期や形態は違っても、本日、ここに埼玉県立所沢高等学校定時制第55回入学式を挙行できますことは、新入生の皆さんはもとより、本校職員や在校生にとりましても、大きな喜びでございます。おそらく、この入学式は、皆さんの心に深く刻み込まれ、生涯忘れることができない思い出深いものとなることでしょう。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する困難な中、保護者の皆様をはじめ、新入生のために御対応いただいた全ての皆様に、校長として感謝申し上げます。

さて、新入生の皆さん。御入学、誠におめでとうございます。所高生となられた皆さんに、一言述べさせていただきます。

皆さんもすでに知っていることと思いますが、本校の定時制課程は昭和41（1966）年の創設以来、55年目を迎えました。多くの先輩たちが、本校の定時制で学び、卒業後は有益な「人財」として社会で活躍されています。将来、皆さんが、先輩たちのような人物に成長し、社会で活躍するために、次の2点を心がけてください。

第一に、本校の卒業を目指してください。定時制で学ぶことは、様々な困難な点があります。それらを克服するためには、夜間の学校生活に慣れ、生活習慣を確立することが大切です。「継続は力なり」です。毎日、登校し続ける粘り強さが必要です。

第二に、将来の「夢」や「志」を持つようにしてください。その第一歩が、卒業後の進路について考え、その実現に向けて努力することです。進学なら大学や専門学校で何を学びたいのか、就職なら入社したい会社の業種や働いてみたい職種について考えてみてください。

先生方は、皆さんの高校生活を全力で支えます。何か困ったことがあれば、遠慮せず相談してください。また、本校の定時制では、スクールカウンセラーや学習サポーター、あるいは日本語教育の支援をする多文化共生推進員など様々な方が、皆さんの学校生活を多面的にサポートしています。皆さんを支えている多くの職員がいることをぜひ覚えておいてください。

結びとなりますが、皆さんが、本校での4年間、授業や学校行事等、様々な教育活動を通じて、たくましく成長されるとともに、充実した高校生活を送られることを祈念して、式辞とさせていただきます。

令和2年6月1日

埼玉県立所沢高等学校長  
佐久間博正